



うつくCITY

# こなん



活気と希望に満ちたゆたかで創造的なまちをつくるために



石部南小学校

## トピックス

- 3月議会定例会議決結果 ..... 2
- 平成30年度予算審査 ..... 5
- 5会派が代表質疑・質問 ..... 12
- 10人が一般質問 ..... 15

各地域の活躍の写真を募集しています。  
詳しくは議会事務局まで

電話☎：0748-71-2347

## がんばるこなんびと

平成30年度が始まりました。  
満開の桜の下、子どもたちの健やかな成長を願います。  
市民の皆様とともに、新しいまちづくりに取り組んでまいります。





二元代表制と行政(市)の仕組み

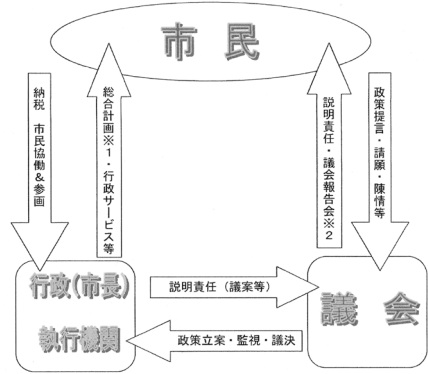
議長 松原 栄樹

# “HEART DE ぎかい”

地方公共団体の議会は国(議院内閣制)の議会と違い、首長と議員をそれぞれ住民が直接選挙で選ぶ制度の二元代表制であり、議員は法律や予算などを審査・決定する権限を持っていますが、その執行は首長が責任を持って行います。そのような中、近年の議会改革

において、平成24年6月に湖南市議会基本条例を制定し、本会議・臨時会のネット中継や、一問一答制、議員間討議や自由討議など会議自体の活発化の工夫などを取り入れてまいりました。また、議会報告会の開催など積極的に住民の皆さまとの対話など開かれた議会を目指し今日まで進めてまいりました。議会こそが住民代表として団体意思を決する機関であること、常に認識して事業に当たってまいります。いりましくの解の程お願い申し上げます。

二元代表制と行政(市)の仕組み



## 3月議会定例会

分類	議案名等	結果
条例(市長提出)	湖南市発達支援センター条例及び湖南市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律および児童福祉法の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの。	◎
	湖南市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について 第7期介護保険事業計画策定に基づき、介護保険料を改定するため、所要の改正を行うもの。	○
	湖南市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について 指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの。	◎
	湖南市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例及び湖南市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について 指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準の一部改正および指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの。	◎

分類	議案名等	結果
条例(市長提出)	湖南市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について 平成30年4月1日から居宅介護支援事業者の指定権限が県から市に移譲されることに伴い、条例を制定するもの。	◎
	湖南市地域産業振興基本条例の制定について 本市における地域産業の振興を推進し、市内の経済の活性化および市民の生活の向上を図ることを目的とし、地域産業に関わる者の役割および責務を明らかにする基本理念を制定するもの。	◎
	湖南市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について 湖南市同和教育推進委員会の廃止に伴い、所要の改正を行うもの。	◎
	湖南市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について 災害対応等の面から職員の市内移住および定住を促進するため、住居手当制度の改正を行うもの。	●
	湖南市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について 国民健康保険税の税率を変更するため、所要の改正を行うもの。	○
	湖南市国民健康保険財政調整基金条例等の一部を改正する条例の制定について 持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部改正に伴い、関係条例について、所要の改正を行うもの。	○
	湖南市青少年自然道場条例を廃止する条例の制定について 湖南市青少年自然道場について、施設の老朽化および利用の実状に即し、社会教育施設としての機能を停止することによる廃止に伴い、条例の廃止を行うもの。	◎

分類	議案名等	結果
補正予算	平成29年度湖南省一般会計補正予算(第8号) 平成29年度国の補正予算(第1号)に関連して、【歳入歳出】それぞれ3億3446万6千円を追加し、補正後の額を218億9957万5千円とするもの。	◎
	平成30年度湖南省一般会計補正予算(第1号) 平成29年度国の補正予算(第1号)に関連して、【歳入歳出】それぞれ3億2056万6千円を減額し、補正後の額を207億8943万4千円とするもの。	◎
当初予算(4P参照)	平成30年度湖南省一般会計予算	○
	平成30年度湖南省国民健康保険特別会計予算	○
	平成30年度湖南省国民健康保険診療所特別会計予算	◎
	平成30年度湖南省後期高齢者医療特別会計予算	○
	平成30年度湖南省介護保険特別会計予算	○
	平成30年度湖南省訪問看護ステーション事業特別会計予算	◎
	平成30年度湖南省水道事業会計予算	◎
平成30年度湖南省下水道事業会計予算	◎	
その他	議決事項の変更について 湖南省青少年自然道場の指定管理者の指定について、平成26年12月議会において議決された内容のうち、指定期間を変更することについて、議会の議決を求めるもの。	○
	市道路線の認定について 新規認定 2路線	◎
	市道路線の変更について 変更路線 2路線	◎
	市道路線の廃止について 廃止路線 1路線	◎
請願	主要農作物種子法に代わる公共品種を守る新しい法律をつくることを求める請願	●
	農業者戸別所得補償制度の復活を求める請願	●
意見書	北方領土問題の解決促進等を求める意見書	◎

※◎全会一致で可決 ○賛成多数で可決 ●賛成少数で否決・不採択

分類	議案名等	結果
条例(市長提出)	湖南省営土地改良事業分担金徴収条例の一部を改正する条例の制定について 地方自治法および土地改良法の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの。	◎
	湖南省都市公園条例の一部を改正する条例の制定について 都市公園法の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの。	◎
	湖南省営住宅条例の一部を改正する条例の制定について 公営住宅法施行令等の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの。	◎
	湖南省消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について 非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令において定められている扶養親族のある場合における補償基礎額の加算額について、一般職の職員の給与に関する法律の一部改正等に伴い、所要の改正を行うもの。	◎
補正予算	平成29年度湖南省一般会計補正予算(第7号) 【歳入歳出】それぞれ10億7269万1千円を減額し、補正後の額を215億6510万9千円とするもの。	◎
	平成29年度湖南省国民健康保険特別会計補正予算(第3号) 【歳入歳出】それぞれ2億932万8千円を減額し、補正後の額を57億9484万7千円とするもの。	◎
	平成29年度湖南省国民健康保険診療所特別会計補正予算(第2号) 【歳入歳出】それぞれ1170万円を減額し、補正後の額を5億1886万2千円とするもの。	◎
	平成29年度湖南省後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号) 【歳入歳出】それぞれ2266万2千円を追加し、補正後の額を4億7676万3千円とするもの。	◎
	平成29年度湖南省介護保険特別会計補正予算(第3号) 【歳入歳出】それぞれ5491万9千円を追加し、補正後の額を30億5056万7千円とするもの。	◎
	平成29年度湖南省訪問看護ステーション事業特別会計補正予算(第1号) 【収益的収入および支出】それぞれ583万2千円を減額し、補正後の額を5325万3千円とするもの。	◎
	平成29年度湖南省下水道事業会計補正予算(第2号) 【収益的収入】571万円増額し、補正後の額を17億7156万とするもの。	◎

# 平成30年3月湖南省議会定例会 提出案件(賛否)

※議長は裁決に加わりません。 ○:賛成 ●:反対

議案番号	件名	無所属の会 市民の力				誠心会				議会改革 ネットワーク	日本共産 党湖南 市議員団	湖南市 明党 議員団	無所属				
		望 月 卓	堀 田 繁 樹	森 淳	奥 村 幹 郎	菅 沼 利 紀	上 野 顕 介	加 藤 貞 一 郎	小 林 義 典	植 中 都	赤 祖 父 裕 美	立 入 善 治	松 井 圭 子	桑 原 田 美 知 子	細 川 ゆ かり	藤 川 み ゆ き	大 島 正 秀
請願第1号	主要農作物種子法に代わる公共品種を守る新しい法律をつくることを求める請願	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	●	●	●	○	●
請願第2号	農業者戸別所得補償制度の復活を求める請願	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●
議案第4号	湖南省職員給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	●	○	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	●
議案第5号	湖南省国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○
議案第6号	湖南省国民健康保険財政調整基金条例等の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	湖南省介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	平成30年度湖南省一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	平成30年度湖南省国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号	平成30年度湖南省後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	平成30年度湖南省介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	議決事項の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

**請願第1号**  
**趣旨** 本年3月末に廃止される「種子法」に代わり米麦大豆種子の公共品種を守るための法律制定を求めるもの  
**産業経済常任委員会審査**  
**○賛成意見** 大企業による種子独占や特許権侵害も危惧。現在までの税投資が無駄に。日本独自の農業形態、品種原種の維持が困難に。  
**×反対意見** 県による独自要綱策定を見守ればよい。品種開発の促進など期待が出来る。  
**委員会賛成多数で採択**  
**■本議会での審議**  
**※原案に対して**  
**反対討論** 民間企業も優れた品種を開発しており、公共と民間が平等に競争できる環境を整備するために種子法は廃止された。知的財産流出の懸念では、現行法制度でも確立されており、新たな法整備

は必要ない。  
**賛成討論** 滋賀県も県独自の要綱を策定し、原種の保管などを継続する方針を明らかにしました。国の財政的措置なしには継続できません。また新品種改良部分だけでなく種子全体に多国籍企業などが特許をかけ、特許料を払わなければその種子が使えなくなります。  
**賛成少数で不採択**  
**請願第2号**  
**趣旨** 米を生産する農家に対し、標準的な生産費と販売価格の差額を補填する制度の復活を求めるもの  
**■産業経済常任委員会審査**  
**問** 農業者だけが優遇される所得補償制度は不平等では。  
**答** 収益確保に努力しているが、全農家が成功しているわけではない。  
**賛成討論** 農業を成長

戦略として立て直す必要はあるが、農家の現状をふまえて賛成。  
**反対討論** なし  
**賛成討論** 湖南省は水稲農業が基幹。担い手不足や生産への下支えが必要のため賛成。  
**委員会賛成少数不採択**  
**■本議会での審議**  
**※原案に対して**  
**反対討論** 平成30年度以降も水田活用の直接支払交付金により水田フル活用を支援、収入減少影響緩和対策は今後も実施されると聞く。  
**賛成討論** 米価が恒常的に生産費を下回ることから、10a当たりの交付金1万5千円が現在は7千500円に半減。これを平成30年度には廃止される。農家の経営を下支えする制度は必要です。  
**賛成少数で不採択**

# 一般会計 211億1000万円

特別会計 (4会計) 95億 460万5千円  
 企業会計 (3会計) 57億1904万7千円

平成30年度一般会計・特別会計・企業会計予算案は、予算常任委員会で慎重に審査を行いました。

## 平成30年度当初予算

会計名			予算額	前年度予算	増減率(%)	
一般会計			211億1000万円	219億8000万円	▲4.0	
特別会計	国民健康保険特別会計		50億1448万6千円	58億9844万円	▲15.0	
	国民健康保険診療所特別会計		5億4139万円	5億1187万5千円	5.8	
	後期高齢者医療特別会計		8億6607万1千円	4億4296万円	95.5	
	介護保険特別会計		30億8265万8千円	28億8901万6千円	6.7	
企業会計	訪問看護ステーション事業特別会計	収益的	収入	6065万7千円	5908万5千円	2.7
		支出	6065万7千円	5908万5千円	2.7	
	水道事業会計	収益的	収入	15億3531万7千円	15億2367万9千円	0.8
			支出	15億547万2千円	14億7252万6千円	2.2
		資本的	収入	5億2071万円	4億774万6千円	27.7
			支出	7億593万2千円	5億9546万1千円	18.6
	下水道事業会計	収益的	収入	17億2371万4千円	17億6585万円	▲2.4
			支出	17億4637万6千円	17億6585万円	▲1.1
		資本的	収入	10億9176万円	9億6981万4千円	12.6
			支出	17億61万円	16億7430万9千円	1.6

## 予算常任委員会

### 一般会計予算

平成30年度一般会計予算は、211億1000万円という規模の当初予算。前年度当初予算と比べると8億7千万円、4・0%減となっています。平成8年度以降23年連続で臨時財政対策債を組み込んでの財源措置となっています。

また、行政改革の着実な実施のために、經常収支比率改善のための対策。行政改革実行予算枠の継続、補助費等の抜本の見直しをします。

意見としては、基金の取り崩しも、財政調整基金2億5千万円並びに振興基金4億3506万円などで、基金が年々減っています。未来への負担とならないように基金の取り崩しには慎重に願います。また、市債の現在高増減見込みで、市民一

人当たりの負担額が50万6186円とされています。次の世代の借金は少なくなるように願いたいですが、まちづくりを考えたとき、やむを得ない部分もある。老人福祉事業や障害福祉事業、母子福祉事業にも地方消費税を有効に活用されていて良いです。

また、予算審査の中で多くの事業で地域やまちづくり協議会と連携すると、答弁されました。まちづくり協議会を巻き込んでの地域運営を考えているならば、しっかりとした支援をして頂きたいとの意見がありました。

反対の立場からは、学童保育の申し込みが急増し、各学童保育支援体制を増やしていますが、指導員が足りないと言う声を聞いています。市もきちんと体制づくりへの援助を



求めます。国の経済施策のもとで、貧困と格差が広がる中、働く者の給料は上がらず、年金はほとんど引き下げられ、生活困窮者に対する扶助費は増え続けている状況です。地方自治として市民負担は極力抑え、そして、住民の暮らしを守るという立場に立ち切れていないと思います。との意見がありました。

**総合政策部**

**問** 人事管理経費で臨時・嘱託職員の雇用が大幅に減っています。

**答** 平成29年度臨時的任用職員予算要求額では、嘱託192人・臨時254人で5億8966万5412円です。平成30年度は、嘱託202人で10人増、臨時213人で41人減の5億7290万3千円です。人数は全体で31人の減、雇用予定の減少によるものです。

**総務部**

**問** タウンミーティングが開催されようとしています。内容と詳細について伺います。

**答** 内容は、新体制になり、三役と部長級による総合政策会議で検討します。また、目的としては、市政に対する市民の理解を深めることです。

**問** 企画調整推進経費の地域おこし協力隊報酬費並びにローカルベンチャー事業費について、伺います。

**答** 目的を持ってきたが、湖南市への、移住定住には至らなかった。ローカルベンチャー事業として地域資源を活かした、実現性の高いプロジェクトを設計し、社会的貢献で起業していくための、ノウハウやネットワークを活かし、状況を把握し、しっかりとサポートしていきたい。

**問** 市税が前年対比3.2%上がる中、歳入ありきという考え方が、それとも市政に必要な歳入を基本に捉えて歳入調整、財源調達したのか、どういう方向性ですか。

**答** 平成30年度一般会計予算は、大規模な事業がない、平時ベースの予算組で、歳入の確保で歳入に見合った歳入を組ませていただきました。

**問** コミュニティバス運行対策費257万2千円増額は事業者のみの方だと思いが、無駄なルートがある。利用者の事を考え、抜本的に編成する必要はありませんか。

**答** 現在13系統51ルート12両のバスを運行しています。利用者の多い所、利用者の少ないルート、今後アンケートを取るなどして、高齢者対策なども含めて、

考えてまいります。

**問** 庁舎整備事業は新庁舎整備に係る基本設計業務と庁舎整備に係るオフィス環境整備業務で9454万8千円です。従来方式となりましたが、市民や議員の意見の反映は。

**答** 市民の皆様の意見などワークショップを考えながらとり入れ、議員と情報を共有しながらより良いものを作っていきます。

**問** 衛生手数料6173万6千円大きく減額になっています。ゴミ袋手数料として歳入の所に入っていないという経過について。

**答** 甲賀広域行政組合で協議して、平成30年度から両市民の利便性を図るために、両市統一の市指定のごみ袋を作成します。甲賀広域行政組合に、事務委託をさせていた。関係係上、ゴミ袋の作成費

及び手数料が減っています。

**健康福祉部**

**問** 予防事業で風しん(抗体無)の予算が上っているが、妊婦さんに抗体があるかないかの検査は妊婦健診で実施するのですか。

**答** 検査は県が実施している。検査結果を見て先生が判断し、一定の抗体値がない方については風しんの予防接種を受けて頂きます。

**問** 平成30年度の各種検診の業者が代わったとの事ですが。

**答** 平成30年度は、入札を行い検診の単価が下がった。業者は一般財団法人・滋賀保険研究センターです。

**建設経済部**

**問** 野洲川親水公園指定管理委託をされています。ランドゴルフなど、使用時間について延長の工夫などはどうされていますか。

**答** 指定管理の委託をしている中で運用の融通が利くかどうか投げかけをしています。管理上の問題を含め、オープン時間は決まっている。季節的、その他の条件で対応できる様お願いしたい。

**問** ウツクシマツ保護事業の保存活用計画策定委員会の開催は、いつ頃という形で進めていくのですか。

**答** 天然記念物平松のウツクシマツ自生地の保存活用計画を3か年で作成します。有識者や専門家、関係者等で策定委員会を組織して協議します。国の文化庁の承認が必要です。早い時期にメンバーを選出して進めていきたいと考えています。

**教育部**

**問** 小学校施設整備事業の空調設備事業の設計業務委託1512万1千円の見積もりをど

のようにされましたか。  
**答** 業界から出ている資料・数字や業者から直接出ている見積もりなど参考に予算確保しました。

**問** 石部小学校芝生化事業の芝生の寿命や維持費として92万円の根拠は。  
**答** 使用度により薄くなったところは、補植している。維持費は、先進地のデータを提供してもらい参考にしていきます。

**問** 給食センター運営事業の備品購入費(アレルギー用容器)33万7千円の使用は。また、何人おられますか。  
**答** 他の食器と一緒に使用できないため、一人ずつ専用になっていきます。20セット購入の予算で未満児から3歳で13人です。

**問** 家庭教育支援総合推進事業の報償費63万6千円の家庭教育コ

ディネーターなどの謝礼について伺います。

**答** 市内4(菩提寺・三雲・石部・菩提寺北)小学校において、子育てに悩みを持っている、不安な日々の生活を送っている保護者の支援をしています。菩提寺小学校では、毎週水曜日にホットサロンを、石部小学校では、毎月10・20・30日に子育てサロンさんぽを、菩提寺北小学校では、隔週にあすなるカフェを開き、相談員として予算を計上しています。

**賛成多数で可決 国民健康保険特別会計**

平成27年5月に「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律」が成立し、平成30年度から県が国保の財政運営の責任主体となります。国民すべてがいつでもどこでも安心して医療が

受けられる国民皆保険の最後のとりでとして、県と市で国民健康保険事業の安定的な運営に努め市民の健康の維持・増進に努めるとの説明がありました。

**問** 国民健康保険の被保険者が減少している、医療費が全体的に減少していると言われます。高額療養費の増額について伺います。  
**答** 平成27年度から高額療養費の区分が3区分から5区分になったからです。今まで非課税ではないが、少し課税である方、限度額で高額にあたらなかった方などが、平成27年度以降少しづつ増えています。その分を増額としました。

**主な意見**

平成30年度から県が国民健康保険の財政運営の主体となり、今後、安定的な財政運営、制

度の安定を図ることとなりました。湖南省でも高齢者の加入が増加する一方で、勤労世代は被用者保険へ加入が進んでいるため、今後の財政状況見通しも厳しいという事でしたが、ますます重要になってくる収納率向上や保険事業に対するインセンティブに着実に取り組んで頂きたいとの意見がありました。

反対の立場から、都道府県化では、社会保障として国保制度のそもそもの改善は出来ないと考えます。との反対意見がありました。

**賛成多数で可決 介護保険特別会計**

基本理念として、高齢者が生き生きと自分らしく、住み慣れた地域で安心して暮らせるまち湖南省としていきます。地域包括ケアシステムの強化については、地域包括支援センター

内に2チーム体制をしつかり分ける形で、市内の法人から2名出向していただく計画で進めています。

介護予防給付費は要支援に係る費用、介護給付費は要介護1〜5についての費用です。第7期介護保険料に

ついては、基準額5396円ということ、第6期からは3000円程度引き上げさせていただきますました。全国平均6千円と報道されています。湖南省においては、まだまだ若いまちである。介護認定率は下がっていますとの説明がありました。

**主な意見**

本市では、高齢化率が上がっているのに対して、介護認定率が横ばいなのは、市民に予防意識や予防活動が浸透し、取り組み効果が上がりがつつあるのかと思います。

反対の立場から、高齢化率が高まる中、介護サービスの充実により、サービス給付が増えれば、比例して際限なく保険料が上がっていく仕組みで、サービスの利用料が2割、3割負担の方もおられ、高齢者の負担能力を超えていくこの制度に反対です。との意見がありました。

**賛成多数で可決**



## 議会運営委員会

平成30年1月16日・17日  
**研修地** 東京都立川市

東京都多摩市

**立川市議会のタブレット活用！**  
**多摩市議会の事務事業評価！**

立川市議会では、若手議員から機会ある度にタブレットの導入要望があり、議会運営委員会では、平成25年9月に先進自治体を視察、同年10月に逗子市議会を視察、同年11月には逗子市議会が導入しているタブレット事業者によるシステムの説明会を実施、同年12月に全議員を対象に当該事業者による説明会を実施、平成26年度当初予算で予算計上し、同年9月から「情報の効率的な伝達方法の確立」と「紙の省資源化」を目的にタブレット導入をスタートされました。タブレットの導入によって大量の情報を携

帶し、常時、検索・閲覧が可能となり、さらに情報提供に要する時間が短縮できるなどの効果があったとのこと。また課題としては、紙資料との併行で運用を開始したため紙削減が進まず、今後は目標を持って紙資料の削減を進めるとのことでした。タブレットの実機を使いながら詳細な説明を受け、各委員から多く質問が出され、本市議会の今後のタブレット導入に向け大変参考になりました。

多摩市議会では主として事務事業評価や議会報告会などについて視察研修を行いました。多摩市は平成16年から決算事業報告書の作成を始め、これを受けて平成17年9月に議会による事務事業評価を始めるべく決算特別委員会改革に着手されました。その後、平成19年10月に議会基本条例制定をめざして議会改革特別委員会を設置。平成22年3月に議会基本条例を可決し、同年9月に施行。当該条例に基づいて、平成22年11月に議会報告会を実施。翌年の11月から年2回(予算・決算)の報告会実施を確認したが、平成29年3月に基本条例を改正し、議会報告会と意見交換会を選択可とされました。

## 総務常任委員会

平成30年2月6日・7日  
**研修地** 静岡県焼津市

**「ふるさと納税」について**

平成28年度51・3億円(全国3位)

・取り組みモットー  
「ふるさと納税で焼津をげんきに！」

### ◎特色

①お礼の品数が日本一 1800品で2位以下を圧倒しており、美味しいものがいっぱいある ②お礼品のジャンル・種類が多く、お礼品を選ぶのが楽しい ③8割弱が魚介類や水産加工品で、年末年始需要にマッチしている。

### ◎ふるさと納税の目的

①市内産業の振興 ②焼津市に移住する人の増加 ③収入の確保 ④水産都市「焼津」のブランド力、知名度のアップ

### ◎ふるさと納税効果

①まちが元気に！・

事業者の皆さんが元気になった。・市民皆様の自信につながっている。②市も事業者もチャレンジできる。③実績をあげること、で、「焼津市」の知名度が向上 ④成果が見えることで、職員の意識とモチベーション向上

### ◎今後の課題

①総務省の通達の順守(返礼率3割以下、資産性返礼品の廃止) ②返礼品の見直し ③シティセールスの拡大、シティプロモーションの強化 ④焼津市を応援してくれる「リピーター」の確保

### 研修地 静岡県掛川市

**「防災体制」・「防災への取り組み」について**

### ◎災害時に、一人ひとりの最適な行動を行う政が示すのは困難

・「自らの身は自分で守る」という考え方の浸透。・「自助を求める姿勢の尊さ」を行政が

示す。・「地区防災計画」「企業の防災計画」「家庭の避難計画」作成の指導。災害時は、避難所への移動のみでなく全ての行動が避難行動

### ◎災害に備えた取り組み

①「掛川市地震・津波対策寄附金」の設置。市民、自治会、企業、団体との「協働」で5年間で3億円の募金活動 ②出前安全講座 年間100回以上の開講

### ◎「自主防災会」の活動

①毎年、中学1年生と避難所運営を行う自主防災会役員が、体育館で宿泊を含めた訓練の実施 ②地区住民が、自ら津波避難場所の「かぐら山」を整備。③女性で構成した女性自主防災会を設置。④各世帯ごと、毛布入りのダンボールに世帯名を記入し避難所に保管。



## 福祉教育常任委員会

平成30年1月25日・26日  
**研修地** 千葉県佐倉市  
**「認知症にやさしい佐倉」**

佐倉市の認知症の取り組みは、高齢福祉課 包摂ケア推進班が中心に進められています。  
 この班では10人が、  
 ①介護予防に関するこ  
 と②認知症対策に関す  
 ること③物忘れ相談④  
 在宅医療介護連携に関  
 すること⑤生活支援体  
 制整備に関すること。  
 のそれぞれに対応され  
 ています。  
 認知症サポーターの  
 養成状況は、平成18年  
 に169人からスター  
 トし、平成29年12月末  
 では1万7783人と  
 10倍以上となっていま  
 す。素晴らしいと思っ  
 たのは、中学生サポー  
 ターの養成が進められ  
 ていることです。佐  
 倉中学校では認知症サ  
 ポーターの出前講座が  
 行われ、中学生サポー

ターを養成し、実際に  
 声掛けで成果を上げて  
 いるとのことでした。  
 そして市職員全員に対  
 してサポーター養成講  
 座を行っていることで  
 す。

**研修地** 静岡県静岡市  
**「名勝三保の松原の保  
 存・育成・管理」につ  
 いて**

名勝三保の松原の基  
 本情報  
 ◎2万年かけて安倍川  
 の土砂から形成。  
 ◎現存のマツの樹齢、  
 古いもので200年超  
 (神の道龍の松 測定  
 結果257年)  
 ◎2013年(平成25  
 年)「富士山―信仰の  
 対象と芸術の源泉―」  
 の構成資産として登  
 録・三保の松原に関わ  
 る行政組織は6課と1  
 事務所が、静岡県にお  
 いても、4課と1研究  
 センターが関わってい  
 ます。県と市が連携し  
 た組織がつくられてい



静岡市

ます。  
 ◎日常管理は松葉掻き、  
 下草刈り、つる除去、  
 除伐、補植が行われて  
 います。ウツクシマツ  
 の保護育成の取り組み  
 と変わらないが、大き  
 く違うのは規模の大き  
 さでした。具体的には  
 これらの活動に参加す  
 る人数が違う。専門的  
 管理は密度管理、マツ  
 材線虫病対策、個体管  
 理システムの構築、有  
 識者による助言、資格  
 取得(樹木医、松保護  
 士)の活動。2名の職  
 員が樹木医の資格を持  
 ち、松保護士の資格も  
 1名の職員が持つてお  
 られました。静岡市あ  
 げでの取り組みとなっ  
 ていることを強く感じ  
 ました。

## 産業経済常任委員会

平成30年1月22日・23日  
**研修地** 大阪府河内長野市  
**「奥河内くろまろの郷」**  
おくかわち  
きと

農家レストランの規  
 模は小さいものの多く  
 の女性客で賑わってい  
 ました。春夏秋は軒下  
 での食事も可能となっ  
 ています。メニューと  
 してはバイキング形式  
 回転率は悪いが手間が  
 省かれています。メイ  
 ンに地元野菜の天ぶ  
 らがあり、サラダ、惣  
 菜、郷土料理、ごはん、  
 そば、飲み物なども充  
 実。接客に経費はかけ  
 ず、食材とレパート  
 リーで還元する方針の  
 ようです。店の雰囲気  
 メニュー、値段、滞在  
 時間も当初から女性を  
 ターゲットに絞り運営  
 をされている様で、売  
 上も当初目的を達成出  
 来るということでした。

**研修地** 奈良県葛城市  
**道の駅 かつらぎ**

農家レストランは合  
 計6店舗、直営2店舗

	みらい公園 湖南	奥河内 くろまろの郷	道の駅 かつらぎ
敷地面積	約9,636㎡	約17,704㎡	約33,000㎡
直売所面積	約1,347㎡	約1,456㎡	約711㎡
総事業費	約8億円 (レストラン含)	約14億円	約31億円
管理の形式	指定管理	指定管理	指定管理
管理者	JAこうか (ここびあ)	JA大阪南	(株)道の駅葛城
営業時間	9時～19時	9時～18時	8時半～19時
想定売上/年	H29年度 2億3400万	H29年度 5億	H28.11～H29.10 8億1千万円
レストラン面積	約212㎡ (建設中)	約175㎡	約350㎡



という形態で、大半は  
 直営店での売り上げで  
 はないかと感じます。  
 指定管理者である経営  
 母体の地域性が強いた  
 め、その影響があるの  
 ではと思います。フー  
 ドコート形式となつて  
 おり、惣菜を何点か選  
 べるため、季節に応じ  
 て地元野菜の活用が可  
 能になっています。  
 双方の直売所では、  
 花の販売が充実され売  
 上も好調。集客の大き

な要因となつていまし  
 た。

# 総務常任委員会

■議案第3号  
湖南省市付属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について

### 審査内容

・湖南省市同和教育推進委員会を廃止することに伴い、別表から削ることについて

・「付属機関」の表記を常用漢字表に基づき「附属機関」に改めることについて

・同和教育に関する人権教育の所轄を市長部局の人権擁護課に統一することについて

全員賛成で可決

■議案第4号  
湖南省市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

### 審査内容

・市内に居住する職員に、住居手当を支給することについて

1. 住居を賃借する職員に月額9千円を加

算する。  
2. 住居を所有する職員に月額6千円を支給する。

・世帯主の職員に支給する住居手当の加算額が平成30年度760万円となることについて。

・市内への移住や定住を促進すること、災害時の地区連絡所や災害警戒本部・対策本部の各班の運営、および他の事業の運営に寄与することの整合性について。

全員賛成で可決

■議案第5号  
湖南省市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

### 審査内容

・平成30年度の国民健康保険税率の改正を行うことについて

・県の取り組みが、平成36年度以降、早い時期に県下で保険税率の統一を図って

くことについて。  
審査の後、討論はなく、採決の結果、全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決しました。

### ■議案第15号

湖南省市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について

### 審査内容

・湖南省市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正することについて。

全員賛成で可決

■議案第31号  
議決事項の変更について

### 審査内容

平成30年3月31日をもって湖南省市青少年自然道場を廃止するため、指定管理の期間を変更することについて

全員賛成で可決

# 産業経済常任委員会

■湖南省市地域産業振興基本条例の制定について

問 第2条の(定義)に市内事業者で該当しないものはあるのか。

答 基本的には事業者として該当しないものはありません。

問 本条例と関連する条例や政策はあるか。

答 条例として関連するものはありません。地方創生による働く場の創出プランとしての政策などが関係します。

問 産業振興戦略推進会議の具体的内容は。

答 当初予算での計上はありません。年度内で具体的に決めていきます。

問 対象者を市内事業者全てと定めているが産業振興戦略推進委員としては実質、商工会などの各種団体の負担になるのではないか。

答 各種団体だけに甘えることなく、意見を尊重します。

問 対象となる事業者からの理解はある程度得られているのか。

答 各団体に対し本条例の趣旨は説明しており、理解を頂いています。

問 本会議での質疑で本来ならもっと早くにこの条例案を制定すべきであったと回答があったと記憶するが。その理由は。

答 地域未来投資促進法と生産性革命に関する具体的な政策が国では検討されています。市としては即効性を可能とするために基本となる本条例を制定したいと考えています。また、上程時期として決して遅れたわけではなく、地方創生がスタートし、ひと・まち・しごとプランとして総合戦略を定めた時が上程時期として最適ではなかったかと思うという答弁であったととらえて

います。  
全員賛成で可決  
市道路線の認定について  
八重谷跨道橋線と吉永山手線を新たに市道として認定するもの。

全員賛成で可決  
市道路線の変更について  
市道大塚団地1号線を大塚1号線に、市道大塚団地3号線を大塚2号線に変更するもの。

全員賛成で可決  
市道路線の廃止について  
市道路線の変更に伴い廃止にするもの。



吉永山手線の現地踏査

他に請願2件、議案3件、計9議案を審査



## 福祉教育常任委員会の審査についての報告

### ■議案第1号

指定居宅介護支援事業者の指定等について権限が県から市町村に移譲されることから、条例で指定居宅介護支援等の基準を定めるため、条例を制定するとの説明がありました。

主な質疑は次の通りです。要介護支援者に対し、在宅介護が重視されているが、県の支援はどうなるのか、との質疑に対し、事業所の指定については市に移譲されるが、ケアマネージャーの資格試験は県が行う。と答弁がありました。

### ■議案第6号

持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律が平成30年4月1日からの施行に伴い、条例の一

部を改正するものでありと説明を受けました。

主な質疑は次の通りです。運営協議会の役割は大きく変わるのか、との質疑に対し、名前は変わるが内容は変わらない。保険料は、これまでどおり市が決定、運営協議会に諮るとの答弁でした。

### ■議案第7号

青少年自然道場は義務教育諸学校の児童生徒の集団宿泊施設として設置されましたが、生活環境や社会情勢の変化により、近年は学校の利用が激減、社会教育施設としての役割を終えたとして、廃止条例が提案されました。

主な質疑は次のとおりです。

廃止後、管理は総務部に移るのか、利活用の判断は教育部なのか、総務部なのか、との質疑に対し、廃止後の施設は、普通財産となる。普通財産の所管は総務部だが、今後の利活用の方針が決まるまでは、教育部が管理を行う。利活用の検討は、両部が協議すると答弁がありました。

態度表明後  
全員賛成で可決

### ■議案第8号

児童福祉法の一部に項ずれが生じるための改正である。と説明がありました。

全員賛成で可決

第7期介護保険事業計画で平成30年度から平成32年度までの介護保険料などの改定であると説明を受けました。

主な質疑は次の通りです。主な見直し内容は、との質疑に対し、大きな施設の設置はない。小規模多機能の施設を2カ所増やしていく。譲渡所得の特例の取り扱いについては、

震災などの事情により土地を手放す場合には、特別控除すると答弁がありました。

### 全員賛成で可決

### ■議案第10号

医療介護の連携の推進、地域共生社会の実現にむけた支援のための条例改正との説明でした。主な質疑は次の通りです。利用者およびその家族の参加を基本とあるが、新たに入った理由について質疑があり、これまでも家族、本人を含め協議しているとの答弁でした。

### 全員賛成で可決

### ■議案第11号

高齢者の自立支援と要介護状態の重度化防止、地域共生社会の実現、制度の持続可能性を確保し、必要なサービス提供のための条例改正と説明がありました。

### 全員賛成で可決

# 庁舎整備特別委員会

第10回特別委員会を開催しました。今回の審議内容は、次のとおりです。

市からは、取り組み状況について説明がありました。

複合庁舎整備事業について、基本設計業務・オフィス環境整備業務はプロポーザル方式で業者選定をします。三月中に契約完了を予定しています。

発注者支援業務については、当初、設計施工一体型のデザインビルド方式で計画し、その支援業務を予定しておりましたが、社会情勢を考慮し、従来型の基本設計・実施設計・施工方式で進めることとしたため、年度内発注は見送りました。複合

市からは、取り組み状況について説明がありました。認められた債務負担行為予算について、未執行分は、この3月議会に減額補正をするべき、住民への周知を積極的に行うべき、西庁舎周辺施設検討委員会の開催はいつ頃予定しているのか、といった意見が出されました。

市からは、債務負担行為については、未契約の場合、自動的に失効するとの判断をしました。西庁舎および周辺施設にかかる公共施設等マネジメント推進委員会については、現在白紙の状態ですが、平成30年度に早期設立し、検討に入ります。また、市民の意見はもとより議会との協議を慎重に重ねながら庁舎整備を進めていきたい、との答弁がありました。

市からは、債務負担行為については、未契約の場合、自動的に失効するとの判断をしました。西庁舎および周辺施設にかかる公共施設等マネジメント推進委員会については、現在白紙の状態ですが、平成30年度に早期設立し、検討に入ります。また、市民の意見はもとより議会との協議を慎重に重ねながら庁舎整備を進めていきたい、との答弁がありました。



## 平成30年度 施政方針・教育方針を問う!

湖南省公明党議員団代表 ● くわはらだ 美知子 議員

### 湖南省施政方針から

**問** 中小企業者などの

先進的設備投資に対し  
て固定資産税の課税標  
準を3年間ゼロにする  
とありますが、どのよ  
うな進め方なのでしょうか。

**答** 本市では、国と一  
体となって、中小企業  
の生産性革命と収益向  
上に向けた最も効果的  
な支援を行うため、本  
制度を最大限活用し、  
先端設備などの導入に  
係る固定資産税をゼロ  
にし、強力に後押しし  
てまいりたいと考えて  
おります。

**問** 十二坊温泉ゆらら  
の未来性について伺  
います。

**答** 地方創生拠点整備  
交付金を利用し、施設  
の一部改修により岩盤  
浴や壺風呂の設置、体  
験工房の館の増築を行  
っています。湖南省の  
観光における課題とな  
っている市内での滞在  
時間を延ばすというこ

と、新たな年齢層の来  
訪客の増加、域内にお  
ける観光消費額の増加  
を見込んでいます。

**問** 教員の働き方改革  
は。

**答** 部活動指導に対す  
る支援については、平  
成30年度から、単独で  
の指導や大会への引率  
が可能である部活指導  
員を配置し、さらなる  
改善に取り組む予定と  
しています。

### 湖南省教育方針から

**問** 「家庭学習支援シ  
ステム」の構築の具  
体化について伺います。

**答** 家庭学習が定着し  
ていない児童生徒の家  
庭生活を整え、学校外  
での学習を習慣化する  
ことにより学力保障を  
するために、システム  
を構築したいと考えて  
います。



## 協働の地域づくりと人づくりを

議会改革ネットワーク代表 ● 植中 みやこ 議員



**地域の特性を活かした  
未来投資の波及効果**

**答** 域内調達や内外  
に波及効果の大きい産  
業分野に挑戦する事業  
を支援し、2022年  
度末までに5277万  
円超の付加価値の増加  
売上げ3.4%増、雇用者  
数3.8%増の経済的効果  
を目指します。

### 農業と福祉の連携

**答** 農業者の理解と福  
祉事業者の協力、高齢  
者を農業支援者に育成  
障がい者とともに農業  
生産力を生み出します。

### クラウドファンディングの活用

**答** 「市民活動プロジ  
ェクト応援資金」とし  
て、地域づくり活動や  
起業を支援し、活性化  
や課題の解決につなげ  
ます。

### 障がい福祉サービス

**答** 特別支援学校卒業  
生が希望する生活介護  
事業所の不足をはじめ  
社会適応が難しい人の

再挑戦の場、本人や家  
族の高齢化と住まいの  
確保など課題が山積し  
ているが、緊急ケース  
なども、必要なサービ  
スの提供につとめます。

**問** 石部駅の改修時に  
は視覚障がい者の転落  
防止のため、ホームに  
内方線付き点字ブロッ  
クの設置を。

**答** 利用者の安全や利  
便性を検討しています。

### 在宅の認知症施策

**答** 65歳以上の高齢者  
のうち介護認定者は1  
728人で認知症と診  
断されたのは60%、高  
齢者全体の12%程度で  
す。認知症初期集中支  
援チームや地域支援推  
進員を設置し、早期か  
らサポートします。

### 地域づくり型市民大学

**答** 一人ひとりの学び  
を地域づくりに活かせ  
るよう、さまざまな事  
業を体系化一元化し、  
7月から「こなん市民  
大学」として始めます。



## 代表質疑・質問



### 甲西図書館はそのまま存続に

日本共産党湖南省議員団代表 ● 立入 善治 議員

**問** 庁舎整備での到達点と甲西図書館は存続されるのか。

**答** 東庁舎は耐震基準を満たしていない。防災拠点としての庁舎整備に併せ、甲西図書館は事業費の観点から見直しを行い、既存施設を利用することを視野に進めます。

**国保の減額調整額の活用を**

**問** 中学卒業までの医療費助成は実施されないのか。子どもの医療費窓口無償化に対して課せられていた国保の減額調整措置（ペナルティ）で未就学児までが廃止され、この見直しで浮いた財源を子育て支援に活用できないのか。

**答** 子育て支援で経費の増大が見込まれる。別に新たな恒常財源が確保できなければ、子どもの医療費助成は難しい。

**歯科治療費の助成の検討を**

**問** 全体の医療費が無理であるなら、歯科治療の医療費助成から始めてはどうか。

**答** 歯科治療についての提案ですが、今までそういった発想を持っていませんでした。どれくらいの負担があるのかを明らかにして検討します。

**問** ウツクシマツの保存活用事業について

**答** 活用計画を平成30年から3年計画で進めます。観光からも里山整備と一体に進めます。

**問** リフォーム助成について。

**答** 旧基準で建築されている木造住宅の耐震診断、補強案作成は無料。改築工事の補助金の交付に加えて、市の単独施策として木造建築耐震改修に対する補助を行っています。

### なぜいまなのか？新庁舎建設！！



無所属の会「市民の力」代表 ● 望月 卓 議員

**「災害に強い庁舎改築」について**

**答** 「湖南省市庁舎建設及び周辺整備基本計画」に基づき、市民の安全・安心な暮らしを支える拠点となるよう高度な耐震機能を備え、大規模災害の発生時には救助や復旧・復興に向けた指揮活動や情報収集など災害復旧・復興活動の機能を担う拠点となる庁舎の整備を図るために、周辺の施設を含め機能を集約化・複合化するための基本設計に取り掛かるものです。基本設計は、10年後・20年後の人口・財政動向への加味につきましては、平成28年4月策定の第2次湖南省市総合計画の総合的な人口減少対策に取り組むことにより、平成37年には現状の人口規模を維持すること、また平成52年におきましても、平成22年の人口5万4612人の概ね5%減と見込んでおります。基本設計におきましては将来人口の動向や社会経済情勢の変化を踏まえた将来の行政組織の変化に対応できるようなフレキシブルな庁舎を目指しています。

**「地域創生と仕事づくり」について**

**答** 地域の特性を生かした高い付加価値を創出しながら、地域の事業者と共に地域経済を牽引する事業の創出を促進して行きます。

味につきましては、平成28年4月策定の第2次湖南省市総合計画の総合的な人口減少対策に取り組むことにより、平成37年には現状の人口規模を維持すること、また平成52年におきましても、平成22年の人口5万4612人の概ね5%減と見込んでおります。基本設計におきましては将来人口の動向や社会経済情勢の変化を踏まえた将来の行政組織の変化に対応できるようなフレキシブルな庁舎を目指しています。



新庁舎等の配置計画



# 施政方針を解き、教育方針を問う

誠心会代表 ● 菅沼 利紀 議員

**問** 新中郡橋構想、野洲川直轄河川化、国1バイパス4車線化を主軸として会派で活動を重ねて来たが、新中郡橋構想が県アクシオンプランで明記され、石部駅舎の改修も道筋が見えてきた。また直轄化では野洲川をはじめ、市内河川の浚渫に県も重要度を理解し、今後の対応に期待が高まります。4車線化では周辺国道整備以上に必要性を伝える段階ではないか。

**答** 重点事項として努力を重ねます。

**問** クラウドファンディングを活用し、市民を応援する環境を構築するとあります。この手法はもう飽和状態ともいえ、目的、効果その対象とより明確化しなければ、大きな効果を得ることが出来ません。善水寺の検査費のような事業では大

きな効果を期待できませんが、どのような支援であるのか。

**答** サイト運営会社と連携し「市民活動プロジェクト」を制度化し、専門アドバイザーによるストーリーづくりや相談支援を行います。

**問** ウツクシマツの活用について、守るためには攻める姿勢が大切です。松自体の持つ希少価値を高め、市場で求められるブランド力を創り上げることが、保存できる環境を永久的につくることになりません。庭木として市場に出るような環境づくりや盆栽などでの価値の創造などの攻める活用についての考え方は持っておられますか。

**答** 平成30年に着手する「保存活用計画」の中で具体的な環境を検討していきます。

他18項目について質問

## 公立甲賀病院組合議会

森 すなお

**平成30年第1回 公立甲賀病院組合議会**  
 本年3月28日午後2時から、公立甲賀病院診療棟2階講堂において、平成30年第1回定例会が開催されました。病院管理者から、「公立甲賀病院組合監査委員の選任につき同意を求めることについて」、「公立甲賀病院組合職員定数条例の一部を改正する条例の制定について」、「平成29年度公立甲賀病院事業会計予算の議決について」の5議案が提案され、議員から通告による質疑が行われた後、全議案が全員賛成で可決されました。なお「公立甲賀病院

平成30年度公立甲賀病院事業会計予算」は、平成31年4月の独法化により、今回が最後の議会審議となります。議案審議に引き続き、議員3名からの通告により、「甲賀病院の地方独立行政法人化について」や「4月からの診療報酬改定の影響について」などの一般質問が行われた後、閉会しました。

## 甲賀広域行政組合議会

松井けい子

平成30年度第一回定例会では、条例改正、平成29年度補正予算、新年度予算案の3議案が提案されました。

手数料条例に関わる施設の数と一部改正の対象となる施設について質疑があり、全体は1252施設で改正対象は2施設で、変更がなければ手数料収入は生じないと答弁。

平成30年度一般会計予算で、指定ごみ袋収入とごみ袋広告料について質疑があり、指定ごみ袋の統一により、在庫を含め、1億4500万円が増収。袋の製造や販売手数料に6300万円が支出。必要経費を差し引いた額が両市に還元されると答弁。生活環境調査業務委託1670万円の内容、入札について質疑があり、夏季、冬季と2年にわたり大気、騒音、振動、臭気等の調査を行うことと入札は競争入札と答弁。

3議案とも全員賛成で可決しました。

その後、救急出動と病院搬送について仮運用されている「高機能消防指令システム」の効果について。また消防士の防火衣の予備の必要性について一般質問が行われました。





## 高齢者にやさしい地域づくりの推進を！

湖南市公明党議員団 ● 細川 ゆかり 議員

### 認知症対策の推進を！

**問** 「認知症初期集中支援チーム」設置状況。

**答** このチームは、医療と介護の専門職と専門医で構成し、認知症が疑われる人や認知症の人およびその家族を訪問し、アセスメント、家族支援などの初期の支援を包括的、集中的に行い、自立生活のサポートを行います。

市では、今年4月から設置します。

**問** 「湖南市おかえりネットワーク」とは。

**答** 「おかえりネットワーク」は、行方不明になる可能性のある方の情報を事前に登録しておき、行方不明時にタウンメールを使ってその情報を発信し、早期発見につなげようとするものです。直接、発見に結びついた事例もあり、早期発見の手立ての一つとして有効であると考えます。

### 高齢者ボランティア導入の推進を！

**問** 高齢者の社会参加や地域貢献を奨励し、高齢者自身の介護予防を促進するとともに元気な高齢者が暮らす地域社会づくりにつなげるとして期待される、高齢者ボランティアポイント制度の導入は。

**答** ポイント制度を作ることで、ボランティアを必要とする内容や場所、ボランティアできる人とその内容を集約し、効率よく活動を展開させることにもつながりますし、支えあいのまちづくりを進めるためのツールのひとつとして、社会福祉協議会なども協議しながら研究・検討していきたいと考えています。



## 市内の交通手段と大谷T字路の安全について

無党派 ● 藤川 みゆき 議員



**問** 住民の移動手段としてのコミュニティバスの在り方の認識は。

**答** 路線の変更など利用促進の様々な試みをしてきたが輸送人員の増加に結びついていません。今後は地域住民主体の地域独自の交通など、よりきめ細やかで効率的な地域交通を考えて行きます。

**問** 甲賀病院へのバスについての検討は。

**答** 平成26年に2カ月間、JR3駅と甲賀病院を結ぶ実証運行をした結果、厳しい状況だと判断したため断念。今後はまちづくり協議会の皆さんに甲賀病院までの交通便利事業をしてもらえるよう提案していきます。

**問** 地域福祉懇談会でも移動手段の課題が多かったが、福祉の観点からの見解は。

**答** 高齢者に自家用車を維持しにくいことから、

別の移動手段を考える必要がある、その中でデマンド交通は有効な手段の一つです。

**問** 大谷地先T字路の信号設置の必要性についての見解は。

**答** 15年間、県への要望をしてきましたが、引き続き要望を続けていきます。

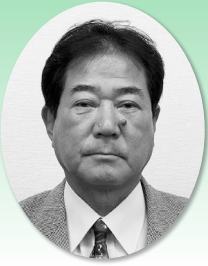
**問** 通学路として現時点でできる安全対策はありますか。

**答** 日枝山手台の区画整理事業に伴う交通量の増加も見込まれることから、啓発看板の設置なども検討してまいります。



大谷地先T字路





## 住民主体のまちづくりを 目指すためにⅡ

無会派 ● 大島 正秀 議員

**問** 庁舎建て替え案について

**答** 図書館や保健センターなど、耐震基準を満たしている建物はタウンミーティングや庁舎整備特別委員会からも意見を頂き、基本計画の提言書についての考察にもある様に、既存の施設を利用する事も視野に入れて引き続き協議を進めます。西庁舎周辺計画についても、新庁舎の完成が平成32年度末を予定、併せて公共施設等マネジメント推進委員会を平成30年度に立ち上げ、有識者や市民の代表を交えて方向性について議論を深めて行きます。住民の皆様に向けて必要の理解を頂く為に広報活動を積極的に進めます。

**問** 石部駅の改善・改築について

**答** JR西日本と協議の末、駅舎の位置変更



石部駅舎



は出来ません。図面についても合意に至っていません。公園整備進入路については道路管理者・公安委員会と協議し円滑に進めていきます。着工時期はバリアフリー化の目標が平成32年度という事もあり、速やかに合意を図るべく努力します。住民・利用者を交えての研究チームは現在考えています。

**問** 市営住宅の運営について

**答** 市内11カ所に在る市営住宅で耐用年数および劣化が著しく激しい住宅については募集は行っていません。現在住んでおられる方々の意見を尊重し、慎重に整備事業を推進します。

## 学力も体力も朝ごはん（食育） から！！

誠心会 ● 小林 義典 議員



**食育の推進について！**

**問** 小中学生のための食育についての取り組みは。

**答** 学校における食育の取組みは、「食に関する指導」全体計画および年間指導計画に基づいて推進しています。小学3年生で「地域の農業」小学5年生で「農業の盛んな県」について学んでいます。さらに、体験的な学びとして、米の栽培・収穫・活用を学んでいます。また、理科や生活科などで栽培した野菜を調理していただくのも全校共通した取組みです。

**朝ごはんの推進と子ども食堂について！**

**問** 子供の朝ご飯の摂取率低下の対策は。

**答** 学力・体力共に朝食の摂取との間に、明らかな相関関係が認められます。市内の小中学校では、親子で朝食の重要性について考え

る学習、栄養教諭・学校栄養教員・保健体育科教員との連携による食指導や委員会活動による、標語募集などの啓発活動に、これまでも取り組んでいます。さらに今年度は、文部科学省指定「早寝・早起き・朝ごはん」推進校事業の指定を受け、石部中学校と甲西北中学校において取組みを進めています。子ども食堂については、各まちづくり協議会に事業の一つとして、お願いしているところですが、市内においては、数年前から、石部南学区が今年度から次年度においては、2つのまちづくり協議会が手を挙げています。今後も各まちづくり協議会において、検討されることを望みます。





## 介護！防災！教育！ 地域共生のまちづくりについて

議会改革ネットワーク ● 赤祖父 ゆみ 議員

**第7期介護保険計画による地域包括ケアシステムの進め方**

**問** 地域包括センターの具体的な進め方は。

**答** 直営で1か所、夏見保健センター内に設け、職員6人を配置。野洲川を挟み、北と南の地区担当制を引き、2チーム体制とします。高齢者支援センターを廃止して、新たに市内法人から出向職員を迎える事としています。将来的には中学校区に広げるよう考えていきたい。

**問** 支え合いの地域づくりはどのように進めますか。

**答** 市では、まちづくり協議会ごとに、地域の人材の中から生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）一名を配置し、その推進員を中心に地域の多様な主体を巻き込みながら進めていきたい。

**防災・減災対策の検証について**

**問** ふるさと防災チームでの地区防災計画の策定現状は。

**答** 現在は三雲区、山台区、ハイウェイサイドタウンの3区です。

**問** 自助の啓発のためにもDIGの出前講座は必要ではないか。

**答** 担って頂けるよう努めていきます。

**教師の超過勤務施策**

**問** クラブ活動顧問の外部講師採用と市立中学校でのクラブ活動の考え方は。

**答** 新たに2名の講師採用を予定しています。クラブ活動は非認知能力を高めるもので、アスリートを育てるものではないと考えます。



安心して地域で暮らすために

## 子どもの命と育ちに責任ある 保育士の処遇改善を

日本共産党湖南省議員団 ● 松井 けい子 議員

**問** 保育職員の臨時・嘱託職員の数と実態は。

**答** 臨時職員は118人、嘱託職員は61人。早朝・延長保育の希望者の増加や土曜保育実施などにより、正職員だけでは対応できません。

**問** 臨時・嘱託職員でクラス担任を持ち正職員と同一労働の方は。

**答** 平成28年度9人、平成29年度は10人です。

**問** 乳幼児の日々の発達に関わる専門職で、保護者との信頼関係や集団の力量が求められ、安定した雇用が必至。正職員化や処遇改善は。

**答** 賃金改善の検討は必要。正職員の補充は財政的な事もあるので今後検討します。

**医療的ケアの必要な子どもの通学保障は。**

**答** 保護者の身体的・精神的・経済的負担が大きい。県に早期制度化を求めています。

**携帯電話・パソコン・ゲームなどの影響は。**

**答** 1日の使用状況は小学生で1〜2時間、中学生で2時間半という調査結果。過度な使用による健康面や学習面への影響に危惧する。健康被害、犯罪に巻き込まれる恐れがあることや正しい使用方法について学習しています。

**問** エナジードリンクは、カフェインを多く含み、依存に繋がる危険もある。児童生徒や保護者への対応は。

**答** 健康の維持促進のための正しい知識を学ぶ際にエナジードリンクの危険性も学べるようにしていきます。



医療ケアが必要な子どもさんの通学の様子



# 少子高齢化社会 健康都市湖南づくりの推進



無所属の会 市民の力 ● 堀田 繁樹 議員



こなん・ザ・ボイス(岩根まちづくりセンター)

**問** 少子高齢化・長寿命化社会を見据えた今後の方向性を伺う。

**答** 本市も高齢化が進んでいます。健康づくり推進の事業を継続的に展開していきます。

**問** 健康都市こなんづくりのため、施策の現状と今後の方針は？

**答** 「健康こなん21計画」で分野ごとに目標値を設定し、事業実施しています。特にがん検診受診者数は伸びており、生活習慣病予防対策は結果的に不十分でした。高齢分野では、百歳体操や健康カラオケ、シルバー農業塾などを実施しています。要介護認定率は徐々に下がっています。

**問** スポーツ健康ゾーン計画の考えは？

**答** 総合体育館周辺施設エリアの位置づけは今後の計画の参考にさせていただきます。

**企業誘致の現状と今後の方向性は。**

**答** 県・関係自治体・企業と連携し、首都圏、京阪神圏などに誘致活動を実施しています。市独自にウェブ版「湖南市企業ガイド」で情報発信しています。今後、中小企業の支援に積極的に取り組みます。

**問** 街並み保全のため道路景観にも配慮を。

**答** 景観法の施行を受け、道路全域を視野に入れ、調和のとれた景観整備に努めます。

**問** 移住定住施策の今後の展開は？

**答** 地理情報システムの活用で円滑な空き家対策を目指し、耐震改修補助制度により支援していきます。

# 高齢者安心システムと デマンド型交通



誠心会 ● 上野 顕介 議員

**高齢者安心システム**

**問** 湖南市では、独居などの高齢者が体調異変を感じた場合にボタンを押すだけで24時間対応のセキュリティセンターに緊急通知ができる安心システムがあります。現在のところアナログ電話の世帯しか加入できません。

**答** 現在はインターネットの普及によりデジタルIP電話回線が増加しています。安心システムに加入できないのは困りますがどうか。

**問** このシステムは、協力が3人必要ですが、こういったことは民生委員や自治会などに伝えていますか。

**答** 民生委員には通知はしましたが、各方面と今後しっかりと協議いたします。

**デマンド交通について**

**問** 主に買い物や通院などを目的として乗合型乗用車で目的地と家までを送迎するデマンド型交通については、市としてどのように取り進むのかをこの3月までに決定するということでしたが、どうなりましたか。

**答** 公共交通として、主線をコミュニティバスが走っており、それらを補完する支線対応としてまちづくり協議会の協力によるデマンド型交通を実現する方向で考えています。

**問** まちづくり協議会に対する車両や燃料、保険などの補助対応はありますか。

**答** 国土交通省などと協議し対応していきたいと思っております。



高齢者24時間対応型安心システム緊急通報装置



# 湖南省の医療を問う！

無所属の会 市民の力 ● 森 すなお 議員

**問** 中核病院としての役割を担う公立甲賀病院は平成31年4月から地方独立行政法人化をめざしていますが、湖南省への影響は。

**答** 公立病院として不採算部門の切り捨てはしません。経営の自由度が増し、より健全経営に努めることから医療の質やサービスの向上をめざします。

**問** 労働センターの医師が退職とのことですがその後の対応は。

**答** 平成31年4月から新しい医師が決定しましたが、それまでの間は現状維持の予定です。

**問** 岩根診療所の医師が体調不良だと聞きましたが、診療不能となった場合の対応は。

**答** 適切に対処します。

**問** 適切とは、岩根診療所を継続していくということですか。

**答** その通りです。

**身近な交通手段の実現を求む！**

**問** 市民に必要な生活交通は。

**答** まちづくり協議会が運営するデマンド型交通が公共交通の重要な役割を果たすと考えています。

**問** そのデマンド型交通は有償、無償のどちらの運行ですか。

**答** 有償は難しいので無償を考えています。

**問** 無償運行に必要な車両などの経費負担は。

**答** 人件費以外は市の負担を考えています。

**問** 実施はいつから。

**答** 30年度中をめざしています。



湖南労働衛生センター

# 庁舎建替を問う！！ 交通弱者対策・駐輪場の減額を！！

無会派 ● 大角 道雄 議員

**庁舎建替の再検討を！**

**問** 庁舎基本計画の駐車台数458台は緑地や災害時広場を考慮した考えでは、350台となり必要台数の想定は600台のため、250台不足し、立体駐車場だと約4億円の費用増が生じます。甲西文化ホール前駐車場不足分を合計すると450台不足。又65億の建設費用ですが、西庁舎関係や消防署施設・駐車場建物およびコスト増を入れると80億程度となる。市の考えは。

**答** 基本計画では必要台数は、526台で確保は458台で68台不足、甲西文化ホールは、主に土日利用されることが多いことから、平日は庁舎駐車スペースで確保を考え立体駐車場の必要性および公用車庫の整備方針にあわせて基本設計の段階において検討をします。

**家から店舗病院等へ！**

**問** 交通弱者対策の早期の実現を望んでおられます。他市で2台の乗り合いタクシーを家から店舗等を5年間運行し市民への実績が上がっている。市の取り組みは。

**答** 各地域のまちづくり協議会で地域独自のデマンド型交通を検討していただいています。出来ない場合は、乗り合いタクシーも選択技のひとつとして調査、研究を進めます。

**駐輪場の大幅減額を！**

**問** 駐輪場の学割等大幅減額を。鉄道利用促進、若者に住みよいまちに向けた市の考えは。

**答** 金額について利用者の意見を頂きながら、必要があれば整備センターと協議します。



# 議 会 日 誌

- [1月]**
- 9日—議会広報委員会
  - 16日—議会運営委員会行政視察  
議会広報委員会
  - 17日—議会運営委員会行政視察
  - 22日—産業経済常任委員会行政視察
  - 23日—産業経済常任委員会行政視察
  - 25日—福祉教育常任委員会行政視察
  - 26日—福祉教育常任委員会行政視察
  - 29日—議会改革推進特別委員会
- [2月]**
- 1日—福祉教育常任委員会協議会
  - 2日—議会運営委員会
  - 6日—総務常任委員会行政視察
  - 7日—総務常任委員会行政視察
  - 19日—予算常任委員会協議会
  - 20日—議員全員協議会
  - 22日—議会運営委員会  
議会広報委員会
  - 26日—議員全員協議会  
本会議[定例会(1日目)]  
産業経済常任委員会  
議会改革推進特別委員会
- [3月]**
- 2日—本会議[定例会(2日目)]
  - 5日—本会議[定例会(3日目)]
  - 6日—本会議[定例会(4日目)]  
議会運営委員会  
議員全員協議会
  - 7日—本会議[定例会(5日目)]  
予算常任委員会  
庁舎整備特別委員会
  - 8日—予算常任委員会
  - 9日—予算常任委員会
  - 12日—予算常任委員会
  - 13日—予算常任委員会
  - 14日—総務常任委員会  
福祉教育常任委員会  
産業経済常任委員会
  - 15日—福祉教育常任委員会
  - 22日—本会議[定例会(6日目)]  
議会運営委員会  
議員全員協議会
  - 27日—議会広報委員会
  - 28日—甲賀広域行政組合議会  
公立甲賀病院組合議会

(議会広報委員会)



左から松原栄樹議長、小林義典委員、松井圭子委員長、赤祖父裕美委員、堀田繁樹副委員長、細川ゆかり委員

## 平成30年6月議会定例会の仮日程をお知らせします

開会 **6月1日(金)**

閉会 **6月19日(火)**

<仮日程>

- |                    |               |
|--------------------|---------------|
| 6月 1日(金) ■本会議      | 6月13日(水) ●委員会 |
| 6月 8日(金) ■本会議      | 6月14日(木) ●委員会 |
| 6月11日(月) ■本会議      | 6月19日(火) ■本会議 |
| 6月12日(火) ■本会議 ●委員会 |               |

本会議は一般に公開され、どなたでも傍聴できます。市民の代表である市議会議員の活動や市政の方針などを、直接議場にてお確かめください。

### ◇傍聴席では…

議場は、市政全般にわたる重要な事項を決定する場です。係員(議会事務局職員)の指示に従って、静粛に傍聴することになっています。

### ◇傍聴の申し込みは…

会議が開かれる当日に来ていただき、「議会傍聴受付書」に住所・氏名を記入してください。座席数に限りがありますので、団体での傍聴は、前もって議事課へご連絡ください。

※事情により日程が変更になることがあります。詳しくは、5月下旬に議事課☎0748-71-2347へお問い合わせください。

## 本会議のインターネット中継を行っています

※過去の本会議や一般質問の動画もご確認いただけます。

湖南省議会

🔍 検索



### 議会だよりをスマホでチェック

「湖南省議会だより」をより多くの人に見ていただくために、スマートフォン向けアプリ「マチイロ」に掲載しています。アプリをダウンロードすれば、いつでもどこでも見ることができます。



### 編集後記

新緑の爽やかな季節となりました。平成30年度が始まり、はや1ヶ月が経ちましたが、新社会人には、今後のご活躍を期待するところです。

さて、議会では改革に積極的に取り組んでいます。今年度は、タブレット端末の導入をいたします。議会関連資料は年間膨大なコストがかかっています。ペーパーレス化により、経費削減・労務改善(職員の負担軽減)・議員活動の効率化を図ります。

今年9日、10日、11日には「市民と議会のまちづくりトーク」を開催いたします。みなさまの声を聞かせください。

市民のみなさまにとってより身近な広報誌となるよう委員一同頑張っております。

議会広報委員 堀田繁樹